

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名	会計学1 (Accounting 1)					担当教員	中村 大輔 (ナカムラ ダイスケ)		
科目コード	392085-14600								
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	2年次	開講期	前期
科目特性	資格対応科目 / 知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要

会計とは、特定組織の経済活動について貨幣額を用いて記録・計算し、その結果を報告するシステムである。本講義ではそのなかでも企業が株主や債権者等に向けて報告をすることを目的とする財務会計分野を扱う。会計と簿記は理論的側面と技術的側面で表裏一体のものであるが、会計学1・2では、理論的側面に絞って学んでいく。

会計学1では財務会計のシステムと基本原則を学んだ後、企業の資金調達から財務諸表の作成と公開までの基本的な流れを中心に学ぶ。

② ディプロマ・ポリシーとの関連

職業人として通用する能力 / 専門的知識・技能を活用する能力 を養う

③ 授業の進め方・指示事項

適宜、企業会計基準等を参照するので、下記の参考図書（会計法規集）を持参するかスマートフォン等により参照できるように準備しておくこと。できれば会計法規集は入手して欲しい。

④ 関連科目・履修しておくべき科目

会計学2と共に履修すること。なお、本科目は会計（特に財務会計）について理論的側面から論じるものであり、技術的側面から論ずる簿記関係の科目（簿記入門1・2、商業簿記1・2、工業簿記1・2等）と共に学ぶと良い。

⑤ 標準的な達成レベルの目安

- (i) 企業会計（特に財務会計）のシステムと基本原則が理解を理解し、説明できる。
- (ii) 企業の資金調達から仕入・生産活動、そして財務諸表の作成と公開までの基本的な流れを理解し、説明できる。

⑥ テキスト（教科書）

桜井久勝・須田一幸（2020）『財務会計・入門（第14版）』有斐閣

⑦ 参考図書・指定図書

中央経済社編『新版 会計法規集』中央経済社  
桜井久勝『財務会計講義』中央経済社 いずれも最新版

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	80%	20%						100%
(i) 企業会計（特に財務会計）のシステムと基本原則が理解を理解し、説明できる。	20%	5%						25%
(ii) 企業の資金調達から仕入・生産活動、そして財務諸表の作成と公開までの基本的な流れを理解し、説明できる。	60%	15%						75%
(iii)								
フィードバックの方法	小テストについては適宜解説等を行う。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
適宜、国税専門官試験の問題等に触れながら、内容の理解と定着が行われるようにしたい。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	ガイダンス	教科書	新聞の経済欄等で会計に関係がありそうな話題を読んでおく	60分
2	会計の種類と役割① (会計の種類、財務会計への法規制)	教科書	会計にはどのような種類があるのか、そして財務会計にはどのような規制があるのかをつかんでおく。	60分
3	会計の種類と役割② (財務会計の役割)	教科書	企業の利害関係者とはどんな人達か。その利害関係者にはどのような情報要求があり、企業はそれにどう応えるのかを考えておく。	60分
4	財務会計のシステムと基本原則①（複式簿記の構造、損益計算の方法）	教科書	1年生で学んだ簿記入門の内容、特に仕訳から決算までの流れを簡単に復習しておく	60分
5	財務会計のシステムと基本原則②（会計基準）	教科書、会計法規集	『会計法規集』などで「企業会計原則」とはどんなものか調べておく	60分

6	企業の設立と資金調達① (株式会社の設立、資金調達)	教科書、会計法 規集	株式会社の設立と資金調達がどの ように行われるのかをつかんでお く。	60分
7	企業の設立と資金調達② (社債)	教科書、会計法 規集	社債とは何か、社債にはどのような 種類があるのかを調べておく。	60分
8	仕入・生産活動① (営業循環、商品の仕入)	教科書、会計法 規集	営業循環とは何か、商品の仕入とそ の評価、買入債務について調べてお く	60分
9	仕入・生産活動② (製品の製造原価、人件費)	教科書、会計法 規集	原価計算とは何か、人件費にはどの ような種類があるのかを調べてお く	60分
10	販売活動① (売上の認識・測定、売上原価 の計算)	教科書、会計法 規集	収益はいつ認識し、どのような測定 するのか、売上原価の計算はどのよ うに行うのかを調べておく。	60分
11	販売活動② (売上代金の回収、棚卸資産の 期末評価)	教科書、会計法 規集	売上代金の回収方法、棚卸減耗費、 評価損について調べておく	60分
12	設備投資と研究開発① (固定資産、減価償却)	教科書、会計法 規集	固定資産の種類とその償却方法に ついて調べておく	60分
13	設備投資と研究開発② (減損、研究開発活動)	教科書、会計法 規集	固定資産の減損とは何か、研究開発 費はどのように会計処理すべきか について調べておく	60分
14	財務諸表の作成と公開① (財務諸表の体系、P/L、B/S)	教科書、会計法 規集	財務諸表にはどんなものがあるの か、特に損益計算書と貸借対照表に ついてその仕組みと表示方法を調 べておく	60分
15	財務諸表の作成と公開② (その他の財務諸表)	教科書、会計法 規集	P/L、B/S以外の財務諸表(キャッシ ュ・フロー計算書を含む)について、 どのような種類あるのかを調べて おく	60分

⑪ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL を採用する。進度に応じて、国税専門官の「会計学」過去問などを小テストとして実施する。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

実務経験と授業科目との関連性